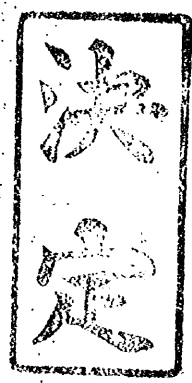




最高戦争指導會議
報告第十一號

20 部内第 19 號

昭和二十年二月二十六日



印度支那政務處理要領

佛印處理ニ伴フ政務處理ハ本要領ノ定ムル所ニ據ル

一 佛印カ全面的ニ我カ要求ヲ受諾シタル場合

(1) 日佛印關係ハ引續キ協同防衛ノ關係ニ在ルモノトス

總督以下佛印側ノ統治機構ハ依然之ヲ存續セシメ以テ積極的ニ我

ニ協力セシムルニ努ム

(2) 再編成ニ當リ不要トアリタル佛印軍ハ及武裝警察隊員ハ一般ハト

同様ニ取扱ヒ得廢トシテ取扱フコトナシ但シ我ニ抵抗セルモノハ

佛印當局ヲシテ處斷セシメ又ハ我方ニ於テ停駐トシテ抑留ス

(ハ) 一般佛國人及佛國人財産等ノ取扱ヒハ概テ現狀通りトス

(ニ) 安南國等ノ獨立運動ニ對シテハ帝國ハ之ヲ妨害セサルモノトス

(ウ) 通貨ハ在來通貨ヲ使用スルモノトス

ニ 佛印カ我要求ニ應セス武力ヲ行使スル場合

(イ) 日佛關係ハ戦争状態ニ非サルモノトス但シ佛印ニ關スル既存日佛

間ノ條約ニ拘束セララルコトナシ

(ロ) 佛印總督以下首腦者ノ職務執行ヲ認めサルモ其ノ處置ハ努メテ隱

當ニス

總督府下部機関ハ之ヲ活用スル

(ハ) 佛印軍人、武裝警察隊員ハ武裝ヲ解除シ抵抗スルモノハ之ヲ付虜

トシ呑ルモノハナルヘク速カニ再編成ノ上之ヲ活用スル

157

(四) 佛國人及佛國人所屬ハ之ヲ敵國人及敵産トシテ取扱ハサルモノト

ス但シ作戰上特ニ必要アル場合ニハ我方ニ於テ財産ヲ管理シ居住

行動等ニ制限ヲ加フルコトアリ

(三) 第三國百愈及第三國人ノ収放ヒハ適當リ限状ヲ變更セサルモノトス

(二) 印度支那官廳ニ伴ヒ安南國、「カンボジア」國及「ルアンブラバ

0923

ン一國ニ於テハ此等諸國固有ノ統治機構ヲ尊重シ我カ方ノ内面指導ノ下ニ適宜其ノ統治ニ任セジム

佛國直轄タリシ地域ニ於テハ專斷ヲ施行ス但シ外部ニ對シテハ其ノ旨明示スルヲ避ケ日本專ニ於テ一時其ノ行政ノ管理ニ任スルノ建前ヲトルモノトス

印度支那全域ニ亘ル共通事項ニ付テハ差當リ我方ニ於テ之カ負擔ニ任ス

(b) 安南國等ノ獨立ニ關スル指導ハ左記ニ準據ス

(1) 速カニ安南國等ヲシテ自發的ニ佛國トノ保護條約破壞等ノ舉

ニ對テシメ獨立再復ノ事項ヲ闡明ス

但シ具體的獨立施策ニ付テハ作戦ニ支障ヲキ範圍ニ於テ之ヲ行

フモノトス

158

(2) 安南國等ノ獨立的地位ノ向上支援ニ當リテハ原住民ヲシテ積極
的ニ我ニ協力セシムルヲ以テ根據トシ特ニ民族意識ノ昂揚ヲ計
ル

(3) 安南國等ノ獨立承認ノ時期、方法等ニ關シテハ中央ニ於テ別

ニ定ム

(4) 發券銀行ハ我方ニ於テ之ヲ管理シ在來通貨ヲ使用ス但シ所要ニ應

0925

シ當初の純軍票ヲ併用スルコトナリ此ノ場合ハ爾後課カニ之ヲ同
收スルモノトス

三 經濟對策ハ自治區域應務ノ強化ヲ第一トシ併セテ現地民生ノ維持

ヲ圖ルヲ主眼トス

通貨ノ放出ハ極力之ヲ抑制ス

備考

廣州灣租借地ニ於ケル政務處理ニ關シテハ本要領ニ準ス